



# 敬愛

校長 吉田 修

〒183-0027 府中市本町 4-16

☎ 042-361-9303

ホームページ <http://www.fuchu03c.fuchu-tokyo.ed.jp/>

## 夏休みを迎えるにあたり

校長 吉田 修

～探求心をもって、挑戦する夏休みを!!～

相対性理論で知られる 20 世紀の偉大な科学者であるアインシュタインという人の言葉です。

「Anyone who has never made a mistake has never tried anything new.」日本語の意味は、「失敗をしたことのない人間は、何か新しいものに挑戦したことのない人です」という意味です。言い換えると、何か新しいものに挑戦すれば失敗はつきものである、ということです。挑戦は新しいものを生み出すために必要なことです。そこには失敗がつきものです。そして何もしなければ失敗はしません。でも、成長もしません。自分自身を高めるために挑戦をするのです。失敗したからといって自分をダメな人間だとか、自分は何もできないなどと思てはいけません。失敗は成長へ至る唯一の道なのです。しかし残念なことに、世の中には人の失敗を必要以上にとがめる人もいます。そのことが失敗を恐れさせる気持ちを作ってしまうことがあります。でも、心配することはありません。チャレンジしている人は失敗した人の気持ちがよくわかっています。本気でやっている人には必ず誰かが力を貸してくれます。皆さん、何かに挑戦してみましょう。自分自身に挑戦してみましょう。失敗にくよくよすることなく、失敗したらやり直してください。そして、チャレンジしている友だち、挑戦している友だちを励ませるような人になってください。

夏休みを過ごすにあたり注意してもらいたいことがあります。自分の時間が増え、その時間をオンラインゲーム等に費やす人もいるのではないのでしょうか。時間を決めて計画的に行うのであれば問題はありません。インターネットの普及により、面と向かって接触をしなくても、いつでもどこでも、時間的・空間的制約を超えてコミュニケーションが可能になりました。匿名性の良さを利用して心を開いたコミュニケーションをすることも可能になりました。保護者、生徒の中にはコミュニケーションツールを利用しているかと思います。一方でスマートホン、ゲーム機器などの通信機器を利用したトラブルも増えています。

- 1 「面と向かって接触をしなくてもコミュニケーションしてしまう」  
→相手の反応が分からないまま情報のやり取りが進み、相手を傷つけることになってしまう危険性がある。
- 2 「流してはならない情報を安易に流す」  
→誹謗中傷が行われることもある。

これらの現象は、生身の人間同士が面と向かってするコミュニケーションとは異なることから引き起こされます。面と向かったコミュニケーションでは、話す内容や話したことの反応が言葉のみならず、身振りや表情、雰囲気といったものを通してリアルタイムで交わされ、それがお互いの話し方や聞き方を制御しています。それによってコミュニケーションは安定し、伝えたい情報の意味も総合的に伝わります。情報通信ネットワークを通じたコミュニケーションは、伝えたい情報の意味が正しく伝わらなかつたりします。悪いことに、面と向かったコミュニケーションでは消えていく、あるいは忘れられていく情報も、情報通信ネットワークを通じたコミュニケーションでは、デジタル情報として記録され、それがさらにコミュニケーションの不安定さを増幅させます。さらには正しい情報であれ、ネット上で拡散し、その人の人格等が傷つけられ一生つきまとわれます。このような感情的な誹謗中傷、ネット上での拡散、ちょっとしたイタズラや落書きは大きな人権侵害にあたります。人間の倫理観の欠如、欲望、過誤、未熟さが引き起こします。ご家庭でもライン、メールなどの利用方法について家族で話し合っただけであれば幸いです。

夏休みからタブレットを持ち帰ることになりました。タブレットは学習用として用意された道具です。自宅で自学自習に活用することが目的です。

# 私の「心に残ったあの一言」

道徳の窓  
NO58



主任教諭 上原 直樹

結論から言いますと「心に残った一言」はありません。何かあるのではと大脳皮質を検索したのですが何も出ませんでした。

なぜなのか考えてみました。私は変わり者で他の人と違う行動を取りたい、同化したくないという気持ちが強いのです。どんな良い言葉に出会ったとしても素直に受け取らず、はじいてしまうのです。

私は感受性の乏しい人間なのかということ、そうでもないと思います。月島で食べた「もんじゃ焼き」、ヤマハホールでの「ピアノコンサート」、雨上がりの夕方に東の空に見えた「虹」、すべて心に残っています。

「心に残る一言」と何が違うのか考えてみました。それは前後のようすに関係するのでしょう。

「もんじゃ焼き」そのものの味だけに感動したのではなく、食事前に散歩した、昭和の記憶が残る月島や佃島の風景が一体となって「もんじゃ焼き」の味になっているのです。同様に「コンサート」ではピアノの音色だけでなく、周囲の喧噪から隔絶されたホール独特の雰囲気、数十分前に降っていた激しい雨が「虹」の感動を呼び起こすのです。

つまり「心に残った一言」はその前後にどんな深い会話があったのか、また書物からであれば著者の心情や考えに共感できたからこそ「心に残る」のでしょう。私は会話が苦手です。最近は何も読まなくなりました。積極的に会話をしたり読書をしたりすれば、その「一言」に出会えるのかもしれませんが、今さら無理かなあ。

## 三中生の活躍

(敬称略)



### 陸上競技部

「第74回 東京都中学校地域別陸上競技大会」

女子東部1年 走幅跳 「第3位」 1年 福岡 春乃 4m15

「東京府中ロータリークラブ主催 作文コンクール」

「銀賞」	2年	石渡 文悠	2年	田中 芽依
「銀賞」	2年	岡本 怜奈	2年	高橋 可帆
	2年	本多 みのり	2年	花野井 麗香
	2年	濱川 七美	2年	小濱 まどか
	2年	森川 友香		

